



平成 26 年 3 月 6 日

【照会先】

大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課世帯統計室

縦断調査管理官

越路 幹男

室長補佐

相原 陽二

(担当)

小池 康浩 (内線 7592)

(代表電話)

03(5253)1111

(直通電話)

03(3595)2322

第 1 回 21 世紀成年者縦断調査（平成 24 年成年者）及び 第 11 回 21 世紀成年者縦断調査（平成 14 年成年者）の概況

目 次

調査の概要

- 1 21 世紀成年者縦断調査（平成 24 年成年者）…………… 1 頁
- 2 21 世紀成年者縦断調査（平成 14 年成年者）…………… 3

結果の概要

- 1 独身者の結婚意欲…………… 5
- 2 独身者の交際状況…………… 6
- 3 独身女性の結婚後の就業継続意欲…………… 8

参考…………… 9

用語の定義…………… 12

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。
アドレス（ http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/ ）

1 第1回21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）調査の概要

1 調査の目的

この調査（以下、「24年調査」という。）は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成24年を初年として実施しているものである。

2 調査の対象及び客体

平成24年10月末時点で20～29歳であった全国（福島県の一部地域を除く。）の男女（及びその配偶者）を対象とし、平成22年国民生活基礎調査の調査地区の当該男女を客体とした。

3 調査の期日

調査の周期 毎年1回（11月の第一水曜日）

調査の期日 第1回調査 平成24年11月7日（水）

4 調査票の種類等

（1）男性票、（2）女性票

平成24年10月末時点で20～29歳であった男女が記入

（3）配偶者票（男性用）、（4）配偶者票（女性用）

第1回調査時点に男性票、女性票の配偶者で、年齢が19歳以下、30歳以上であった者が記入

5 調査の事項

（1）男性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、交際異性の有無、結婚意欲、家事・育児時間、親との同居の有無、前年の所得等

（2）女性票 …… 仕事の有無、就業形態、仕事と子育ての両立支援制度の状況、配偶者の有無、交際異性の有無、結婚意欲、結婚後の就業継続意欲、親との同居の有無、子どもの状況、前年の所得等

（3）配偶者票（男性用） …… 仕事の有無、家事・育児時間等

（4）配偶者票（女性用） …… 仕事の有無、就業形態、子どもの状況等

6 調査の方法

調査員があらかじめ配布した調査票に被調査者が自ら記入し、密封したものを後日調査員が回収する方法により行った。

7 調査の系統

厚生労働省 ———— 都道府県 ———— 保健所 ———— 調査員 ———— 被調査者

┌ 保健所設置市 ───┐
│ 特 別 区 │

8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。
調査客体数、回収客体数、集計客体数は次のとおりである。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	19,533	15,442	14,934
女性票	19,346	15,680	15,306
配偶者票（男性用）	746	688	683
配偶者票（女性用）	267	250	247
計	39,892	32,060	31,170

(参考) 第1回の調査客体数と回収客体数（男性票、女性票）

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回	20～29歳	38,879	31,122	80.0%

9 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
---------	---

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

調査客体数、回収客体数、集計客体数は次のとおりである。

なお、本概況における集計客体数とは、調査客体となって以降、継続して集計可能である客体をいう。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	6,083	4,908	3,928
女性票	7,210	5,998	4,920
配偶者票（男性用）	2,829	2,369	1,273
配偶者票（女性用）	1,668	1,396	638
計	17,790	14,671	10,759

（参考）第1回からの調査客体数と回収客体数（男性票、女性票）

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回	20～34歳	33,689	27,893	82.8%
第2回	21～35歳	29,683	24,393	82.2%
第3回	22～36歳	25,330	21,563	85.1%
第4回	23～37歳	22,425	19,716	87.9%
第5回	24～38歳	20,204	17,990	89.0%
第6回	25～39歳	18,281	16,444	90.0%
第7回	26～40歳	16,793	15,337	91.3%
第8回	27～41歳	15,870	14,659	92.4%
第9回	28～42歳	15,055	12,876	85.5%
第10回	29～43歳	14,644	12,062	82.4%
第11回	30～44歳	13,293	10,906	82.0%

※ 第8回まで、調査員調査により実施

9 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
---------	---

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

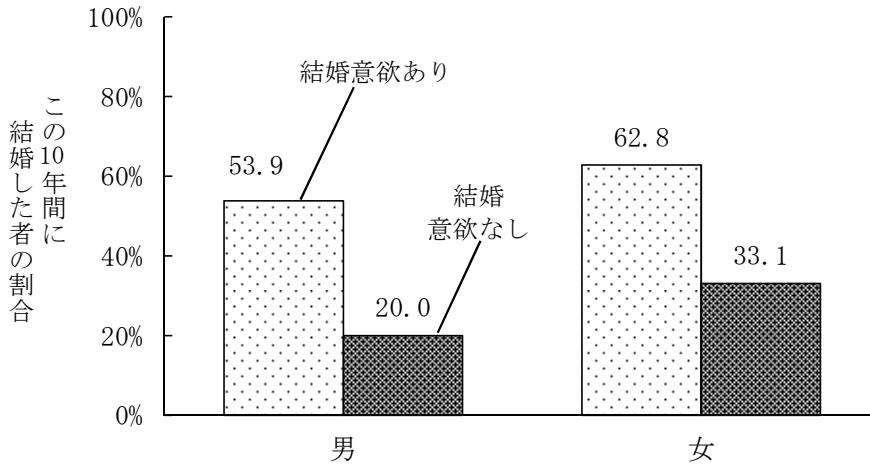
結果の概要

1 独身者の結婚意欲

結婚意欲がある独身男女は、結婚意欲がない者に比べ、結婚した割合が高い
20代独身女性の結婚意欲は、10年前に比べ正規・非正規ともに増加

14年調査における第1回の独身者の結婚意欲別に、この10年間に結婚した割合を性別にみると、男女ともに第1回調査時に「結婚意欲あり」と回答した者は、「結婚意欲なし」と回答した者に比べ、結婚した割合が高くなっている。(図1)

図1 第1回調査時に20代独身だった者の性、結婚意欲別にみたこの10年間に結婚した者の割合【14年調査(第11回)】

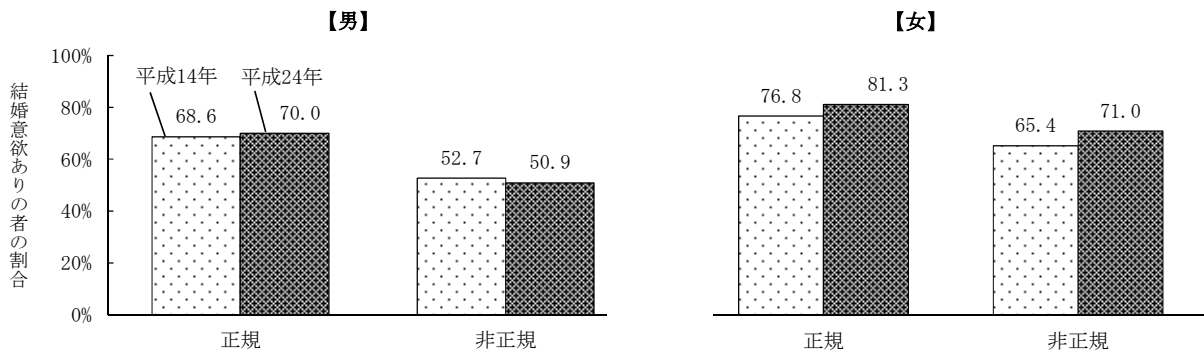


注：1)集計対象は、9頁「参考」1(1)①を参照。

2)「結婚意欲あり」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚意欲なし」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を合計している。

14年調査と24年調査の第1回調査において、独身男女の結婚意欲がある者の割合を性、正規・非正規別にみると、10年前に比べ女性は「正規」「非正規」とともに増加している。(図2)

図2 性、正規・非正規別にみた20代独身者の結婚意欲ありの者の割合【14年調査(第1回)・24年調査(第1回)】



注：1)集計対象は、9頁「参考」1(1)②及び(2)を参照。

2)「結婚意欲あり」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を合計している。

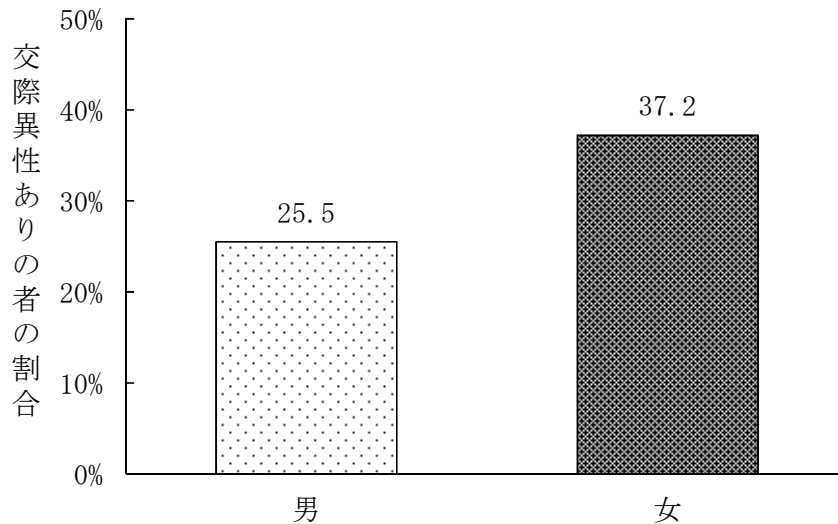
2 独身者の交際状況

20代独身の交際異性ありは、女性で37.2%、男性で25.5%

正規・非正規別にみると、男女とも、正規で交際異性ありの者の割合が高い

24年調査の第1回調査において、独身男女の交際異性の有無を性別にみると、男性に比べ女性の「交際異性あり」と回答した者の割合が高くなっている。(図3)

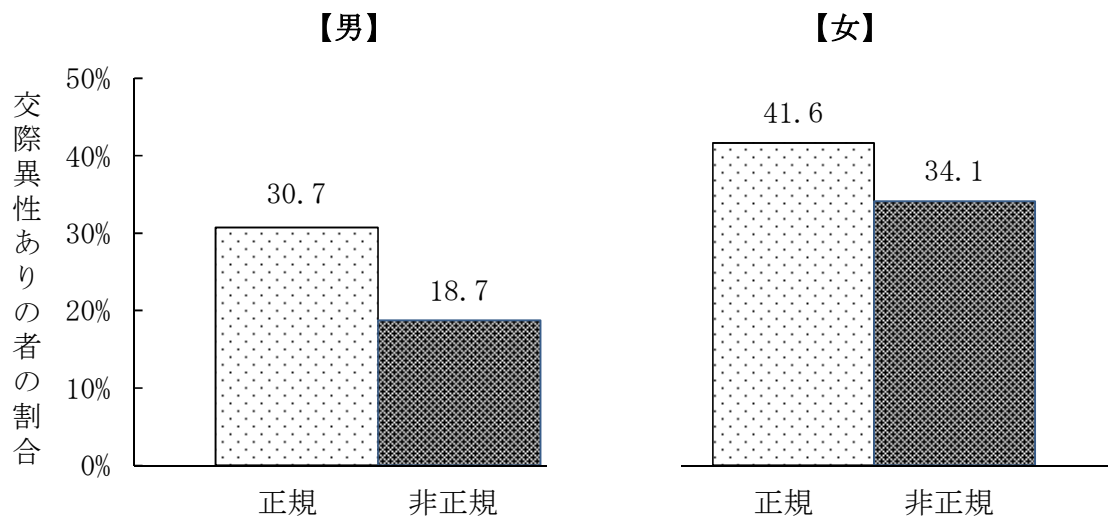
図3 性別にみた20代独身者の交際異性ありの者の割合【24年調査(第1回)】



注：集計対象は、9頁「参考」1(2)を参照。

これを、就業形態の正規・非正規別にみると、男女とも、「正規」は「非正規」の者に比べ、「交際異性あり」と回答した者の割合が高くなっている。(図4)

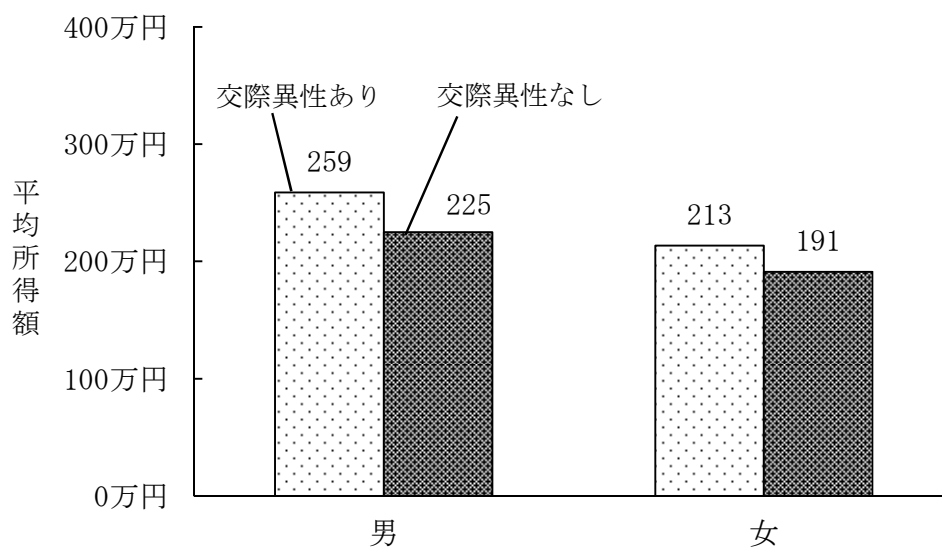
図4 性、正規・非正規別にみた20代独身者の交際異性ありの者の割合【24年調査(第1回)】



注：集計対象は、9頁「参考」1(2)を参照。

性別に、所得ありの者の所得の状況をみると、男女とも、「交際異性あり」の者は「交際異性なし」の者に比べ、平均所得が高くなっている。(図5)

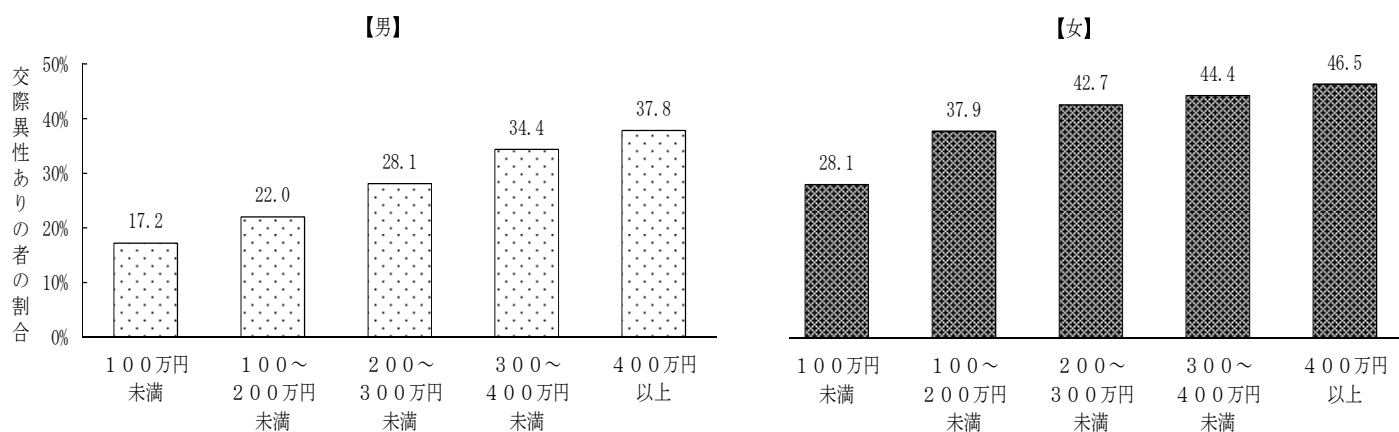
図5 性、交際の有無別にみた20代独身者の所得ありの者の平均所得額
【24年調査(第1回)】



注：集計対象は、9頁「参考」1(2)を参照。

性別に、所得ありの者について、所得階級別にみると、男女とも、所得が高くなるほど、「交際異性あり」の者の割合が高くなっている。(図6)

図6 性、所得階級別にみた20代独身者の交際異性ありの者の割合
【24年調査(第1回)】



注：集計対象は、9頁「参考」1(2)を参照。

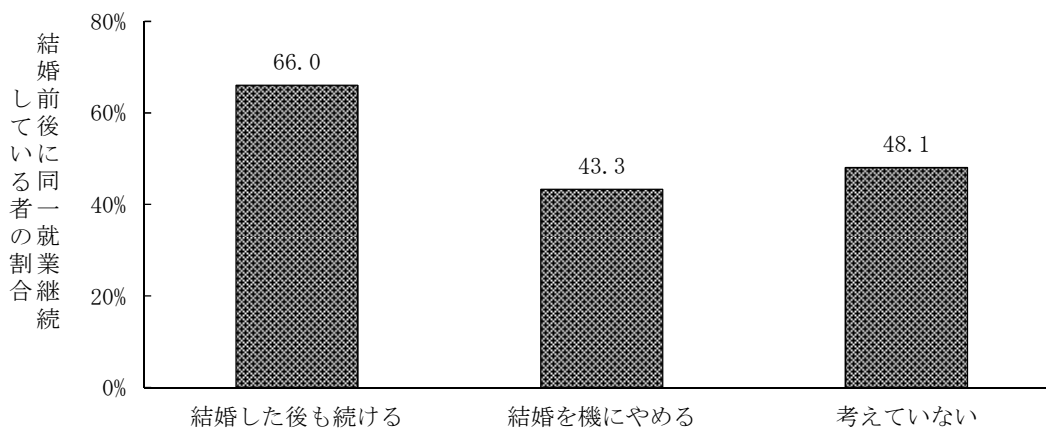
3 独身女性の結婚後の就業継続意欲

結婚後も就業継続をしようと答えた独身女性は、結婚を機にやめるなどと答えた者に比べ、結婚前後で同一就業継続している割合が高い

20代独身女性の結婚後の就業継続意欲は、10年前に比べ正規では「結婚を機にやめる」が減少、「考えていない」が増加し、非正規では「結婚した後も続ける」が減少

14年調査における第1回の独身女性の結婚後の就業継続意欲別に、この10年間に結婚し、結婚前に仕事をしてきた女性について結婚前後の同一就業継続の状況をみると、「結婚した後も続ける」と回答した者の結婚前後の就業継続の割合が最も高くなっている。(図7)

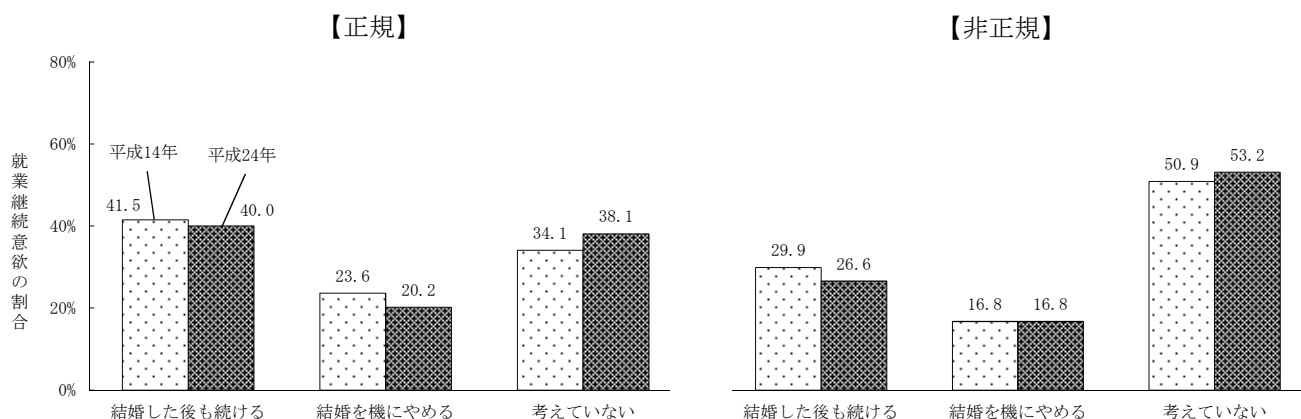
図7 第1回調査時に20代独身女性だった者の結婚後の就業継続意欲別にみたこの10年間の結婚前後に同一就業継続している者の状況【14年調査(第11回)】



注：集計対象は、9頁「参考」1(1)①を参照。

14年調査と24年調査の第1回調査において、独身女性の結婚後の就業継続意欲の状況を正規・非正規別にみると、10年前に比べ「正規」では「結婚を機にやめる」が減少、「考えていない」が増加し、「非正規」では「結婚した後も続ける」が減少している。(図8)

図8 正規・非正規別にみた20代独身女性の結婚後の就業継続意欲別の状況【14年調査(第1回)・24年調査(第1回)】



注：集計対象は、9頁「参考」1(1)②及び(2)を参照。

参 考

1 集計対象の条件

(1) 平成14年調査

①第1回調査から第11回調査までの蓄積データ

集計対象の条件		図表番号
第1回調査から第11回調査まで継続して回答している者		図1
第1回調査時に20～29歳の独身者でかつ第2回調査時の既卒者		
以下の(a)～(c)に該当する者		図7
(a)	第1回調査時に結婚意欲を「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」と回答した者	
(b)	第1回調査時に所得を伴う仕事のあった者	
(c)	この10年間に結婚し、結婚の前で同一就業継続している者	

②第1回調査データ

集計対象の条件		図表番号
第1回調査時に20～29歳の独身者でかつ既卒者		図2
第1回調査時の就業形態が「正規」又は「非正規」の者		
以下の(a)及び(b)に該当する者		図8
(a)	第1回調査時に結婚意欲を「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」と回答した者	
(b)	第1回調査時に所得を伴う仕事のあった者	

(2) 平成24年調査

集計対象の条件		図表番号
第1回調査時に20～29歳の独身者でかつ既卒者		図3、5、6
第1回調査時の就業形態が「正規」又は「非正規」の者		図2、4
以下の(a)及び(b)に該当する者		図8
(a)	第1回調査時に結婚意欲を「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」と回答した者	
(b)	第1回調査時に所得を伴う仕事のあった者	

2 集計客体数一覧

図1 第1回調査時に20代独身だった者の性、結婚意欲別にみたこの10年間に結婚した者の割合

14年調査（第11回）	男			女		
	総数	結婚した	結婚していない	総数	結婚した	結婚していない
総数	1 342	622	720	1 799	1 041	758
結婚意欲あり	866	467	399	1 316	827	489
絶対したい	376	236	140	674	466	208
なるべくしたい	490	231	259	642	361	281
どちらとも言えない	337	115	222	316	155	161
結婚意欲なし	95	19	76	130	43	87
あまりしたくない	69	17	52	101	38	63
絶対したくない	26	2	24	29	5	24
不詳	44	21	23	37	16	21

図2 性、正規・非正規別にみた20代独身者の結婚意欲ありの者の割合

	男								
	総数	結婚意欲あり			どちらとも言えない	結婚意欲なし		不詳	
		絶対したい	なるべくしたい	あまりしたくない		絶対したくない			
平成14年調査（第1回）									
総数	4 604	2 847	1 251	1 596	1304	384	279	105	69
（再掲）正規	2 592	1 778	829	949	626	159	130	29	29
（再掲）非正規	820	432	166	266	280	97	68	29	11
平成24年調査（第1回）									
総数	8 381	5 188	2 223	2 965	2199	813	527	286	181
（再掲）正規	4 293	3 005	1 346	1 659	940	263	185	78	85
（再掲）非正規	1 610	820	309	511	515	238	155	83	37

	女								
	総数	結婚意欲あり			どちらとも言えない	結婚意欲なし		不詳	
		絶対したい	なるべくしたい	あまりしたくない		絶対したくない			
平成14年調査（第1回）									
総数	4 742	3 316	1 683	1 633	1011	360	285	75	55
（再掲）正規	2 377	1 825	971	854	413	126	108	18	13
（再掲）非正規	1 485	971	460	511	367	129	105	24	18
平成24年調査（第1回）									
総数	9 228	6 977	3 809	3 168	1549	616	405	211	86
（再掲）正規	4 465	3 629	2 081	1 548	619	183	141	42	34
（再掲）非正規	2 621	1 861	950	911	501	232	150	82	27

注：総数には、正規・非正規以外の就業形態、仕事なし等を含む。

図3 性別にみた20代独身者の交際異性ありの者の割合

図4 性、正規・非正規別にみた20代独身者の交際異性ありの者の割合

平成24年調査（第1回）	男				女			
	総数	交際異性あり	交際異性なし	不詳	総数	交際異性あり	交際異性なし	不詳
総数	8 381	2 135	5 552	694	9 228	3 430	5 167	631
（再掲）正規	4 293	1 316	2 619	358	4 465	1 857	2 321	287
（再掲）非正規	1 610	301	1 156	153	2 621	894	1 525	202

注：総数には、正規・非正規以外の就業形態、仕事なし等を含む。

図5 性、交際の有無別にみた20代独身者の所得ありの者の平均所得額

図6 性、所得階級別にみた20代独身者の交際異性ありの者の割合

平成24年調査 (第1回)	総数	所得あり						所得 なし	不詳	平均 所得 金額 (万円)	
		100 万円未満	100～ 200 万円未満	200～ 300 万円未満	300～ 400 万円未満	400 万円以上	所得 金額 不詳				
男	8 381	6 227	767	1 296	2 083	1 560	482	39	789	1 365	234
交際異性あり	2 135	1 735	132	285	585	537	182	14	117	283	259
交際異性なし	5 552	4 086	569	933	1 370	921	275	18	627	839	225
不詳	694	406	66	78	128	102	25	7	45	243	223
女	9 228	7 625	1 048	2 609	2 558	1 099	245	66	717	886	200
交際異性あり	3 430	2 997	295	989	1 091	488	114	20	178	255	213
交際異性なし	5 167	4 206	676	1 474	1 345	550	122	39	498	463	191
不詳	631	422	77	146	122	61	9	7	41	168	186

注：「平均所得金額」は、「所得なし」、「所得金額不詳」を除いて集計している。

図7 第1回調査時に20代独身女性だった者の結婚後の就業継続意欲別にみたこの10年間の結婚前後に同一就業継続している者の状況

14年調査 (第11回)	総数	同一就業 継続	転職	離職	不詳
総数	836	465	84	253	34
結婚した後も続ける	374	247	29	84	14
結婚を機にやめる	180	78	26	71	5
考えていない	258	124	28	93	13
不詳	24	16	1	5	2

図8 正規・非正規別にみた20代独身女性の結婚後の就業継続意欲別の状況

	総数	結婚した後も 続ける	結婚を機に やめる	考えて いない	不詳
平成14年調査 (第1回)					
総数	4 138	1 538	848	1 686	66
(再掲) 正規	2 346	973	554	800	19
(再掲) 非正規	1 443	432	242	735	34
平成24年調査 (第1回)					
総数	8 146	2 909	1 536	3 502	199
(再掲) 正規	4 389	1 757	888	1 672	72
(再掲) 非正規	2 512	667	422	1 336	87

注：総数には、正規・非正規以外の就業形態等を含む。

用語の定義

- 1 「**独身者**」及び「**独身の者**」とは、「配偶者なし」と回答した者をいい、未婚、離別、死別は区別していない。
- 2 「**既卒**」とは、学歴（在卒別）を「卒業」と回答した者をいう。
- 3 「**第1回調査時**」～「**第11回調査時**」とは、平成14年調査におけるそれぞれの回の調査時点で把握した項目である。
- 4 「**この10年間**」とは、平成14年調査における第1回調査から第11回調査までの間のことをいう。
- 5 「**結婚した**」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者を含む。
- 6 「**結婚意欲**」とは、「今後、結婚したいと思いますか。」と質問したものである。
- 7 「**正規**」、「**非正規**」は次の就業形態を指し、「勤め先での呼称」に基づいている。

正	規	……	正規の職員・従業員
非	正	規	…… アルバイト、パート、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託、その他
- 8 「**所得**」とは、平成23年1年間に得た所得であり、働いて得た所得（税込み）とその他の所得（親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、子ども手当、雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含む）の合計金額である。
- 9 「**結婚前後の同一就業継続**」とは、結婚前調査回と結婚後調査回で、勤め先、及び就業形態が変わっていないこと、また、自ら行っている事業が変わっていないことをいう。
- 10 「**結婚後の就業継続意欲**」とは、「結婚した後も現在の仕事を続けますか。」と質問したものである。